

各位

2025 年 11 月 7 日  
JP インベストメント株式会社

「JP インベストメント地域・インパクト1号投資事業有限責任組合」による  
ニチエツ株式会社への投資実行について

JP インベストメント株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 中村 昌史、以下「JP インベストメント」または「当社」）は、JP インベストメント地域・インパクト1号投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）を通じ、ニチエツ株式会社（神奈川県横浜市、代表取締役：中村高志、以下「ニチエツ」）への出資を実行しましたので、お知らせいたします。



本ファンドは、地域経済の活性化、SDGs の目標達成に向けた社会的インパクトの創出に資する企業や事業への投資を行い、持続可能な社会の確立を目指すものです。

具体的には、国内において成長資金や事業承継等のニーズを有する中堅中小企業、ベンチャー企業及び地域開発事業等への投資を行うことにより、地域への資金循環を通じた地域経済の活性化や社会へのポジティブインパクト創出による SDGs の目標達成に貢献いたします。

プラスチック成形工場では労働力不足が深刻化し、生産性の低下が始まっています。さらに、従来の金型クレーン搬送では、金型の落下や挟まれ事故といった労働災害が発生しています。これは作業者の安全を脅かすだけでなく、生産活動にも大きなリスクをもたらしています。

このような課題に対し、ニチエツは自律走行可能な金型交換装置を中核とする生産システムを開発しており、金型の取り出し、成形機までの搬送、金型交換、生産開始、生産終了、金型の引き取りなどの一連の工程を全て自動化することを目指しています。これにより、プラスチック成形工場の生産性を向上し、危険な金型交換作業から作業者を解放することに加え、プラスチック廃棄物削減による環境負荷の軽減にも寄与することが期待されます。

ニチエツは本ラウンドで調達した資金を活用し、既存製品の供給力を強化し、高まる需要に応える体制を構築するとともに、プラスチック成形工場の完全自動化を目指す「自律走行式金型交換装置」の開発を加速する方針です。

当社は、中村社長をはじめとする経営陣の高い開発力とリーダーシップのもと、同社製品の導入が国内外の工場に広がるとともに、自動化技術がさらなる生産領域へ展開されることで、中長期的な成長が実現されることを期待しています。

上述のようにニチエツの事業は社会へのポジティブインパクト創出による SDGs の目標達成に貢献するという本ファンドの理念に合致することから、本件への出資を決定いたしました。

## ■ ニチエツ株式会社概要

- ・ 商号 : ニチエツ株式会社
- ・ 設立 : 2017 年 11 月 21 日
- ・ 代表者 : 中村高志
- ・ 本社所在地 : 神奈川県横浜市都筑区川向町 852-1
- ・ 資本金 : 532,027,358 円(資本準備金含む、2025 年 11 月 7 日時点)
- ・ URL : <https://jpv.n.co.jp/>

## ■ JP インベストメント地域・インパクト 1 号投資事業有限責任組合概要

名 称	JP インベストメント地域・インパクト 1 号投資事業有限責任組合
ファンド総額 (*1)	120 億円 (ゆうちょ銀行 80 億円、かんぽ生命保険 40 億円)
無限責任組合員	JP インベストメント地域・インパクト合同会社
有限責任組合員	株式会社ゆうちょ銀行 株式会社かんぽ生命保険
設立日	2022 (令和 4) 年 4 月 1 日
存続期間	10 年間
業務運営者	JP インベストメント地域・インパクト合同会社 (*2)

\*1 無限責任組合員の出資分を除いた金額です。

\*2 「JP インベストメント地域・インパクト合同会社」は、本ファンドの運営会社として JP インベストメントが出資し設立した会社です。

### 金融商品取引法に基づく広告等の表示

- 金融商品取引業者等の商号  
JP インベストメント地域・インパクト合同会社  
(JP インベストメント株式会社子会社 : 以下「GP 会社」といいます。)
- 金融商品取引業者等である旨  
適格機関投資家等特例業務届出者
- 手数料等について  
GP 会社が提供するファンドに関して、顧客たる投資家には、管理報酬及びファンド運営に必要な費用等をお支払いいただきます。管理報酬は出資約束額又は運用財産額に一定の料率を乗じて算出しますが、具体的内容は顧客との協議により決定いたします。また、ファンド運営に必要な費用 (監査報酬、弁護士等の外部アドバイザーの費用等) は、個別の業務内容により変動します。
- 投資リスクについて  
GP 会社が提供するファンドの持分への投資について、元本及び利回りの保証はありません。また、ファンドの運用財産の価格、金利、通貨の価格及び市場環境等の変動その他の要因により損失が発生する可能性があります。

以上